

就労準備支援事業における令和4年度の実績報告及び令和5年度の進捗状況

項目	令和4年度の実績	令和4年度の実績	令和5年度の実績	令和5年度の進捗（7月末時点）
地域での居場所・役割	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者相談センター系の会と継続して連携する。 訪問支援（アウトリーチ）等による早期からの継続的な個別支援を実施する。 定期的に通える場をつくり、日々の体調を確認したり、プログラム参加や作業ができる場を提供する。 気軽に相談でき、集まれる場として寄ってカフェを継続的に実施していく。（オンライン含む。） ひだまりの会へ参加し、ご家族との関わりをもち、当事者へのアプローチを検討していく。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 若者相談センター「アサガオ」の親の会と継続して連携し、情報共有を行った。 訪問支援を重ねることによって対象者の興味のあることや、「苦手なこと」「していても良い事」について知ることで、その情報をもとに外出出来るきっかけづくりの提案をしたことで、外に出る事が出来た。その後、緩やかに継続した個別支援を実施することで就労体験への参加など就労への意欲が高まり、プログラムを通して他者と関わる機会が増加した。 つどい場「くろまつ」を継続して実施。37回開催し、延べ人数123名が参加した。参加者からは、「月曜日は早起きするようになった。」「人と話す機会や外に出る機会が増えた。」「と感涙をいただいている。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> つどい場「くろまつ」のように定期的に通える場をつくることで、少人数ながら本事業利用者の他者との関わり合いの機会が増え、外出の機会が増えている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業の関わっているひきこもりのケースで本事業につながっていないケースもあるため、情報共有を行いながら、アウトリーチを実施していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 若者相談センターアサガオ系の会と継続して連携する。 訪問支援（アウトリーチ）等による早期から継続的な個別支援を実施する。 つどい場くろまつで就労系のセミナーを取り入れながら、プログラムの充実を図る。 ひだまりの会へ参加し、ご家族との関わりをもち、当事者へのアプローチを検討していく。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> つどい場「くろまつ」で講師を招き、月に1回就労系のセミナーを実施。ビジネスマナーやPCを使った実務的な内容もあり、昨年度よりもプログラムの種類が増加した。7月末時点で15回実施し、延べ63人が参加。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> つどい場「くろまつ」で実施するプログラムが増えることで、参加者のニーズに合わせてプログラムが実施でき、就労を考えている方、まずは定期的に通うことを考えている方など段階に合わせたプログラムの実施が可能。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今年度はまだアサガオ系の会に参加できていないので、参加した際には本事業について周知していきたい。
周知・啓発	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> 近隣の高校・大学と情報共有や学校訪問を通じて事業を周知し、先生や学生の方と関わりや接点をもつ機会をつくる。 ホームページ等を活用し、事業内容発信する。 潜在的な対象者が参加しやすいプログラム、イベントを実施する。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 継続して自立相談支援事業と近隣の高校・大学へ訪問し、学校側に本事業の対象者像や支援内容の説明を行い、本事業を認知してもらうことに努めた。定期的に学校訪問することで、個別ケースにつながったり、在学生に対して出前講座を実施することで、つながることができた。 農作業を実施し、潜在的な対象者が参加するきっかけとなった。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的に学校訪問し、自立相談支援事業と協力して本事業でどのような取り組みができるかなどと学校側に提案、共有することで在学中の生徒につながり、教育分野と福祉分野で連携する場面が増加した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業内容の取り組みについて周知できるよう引き続き取り組んでいきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 近隣の高校・大学と情報共有や学校訪問を通じて事業を周知し、先生や学生の方と関わりや接点をもつ機会をつくる。 事業の名称、活動の内容について周知する。 潜在的な対象者が参加しやすいプログラム、イベントを実施する。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業の愛称を事業利用の方達と考え、「Oneすてっぷあしや」という愛称とした。ロゴマークやパンフレットも新しく作成し、本事業を知ってもらえるように取り組んでいる。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 愛称ができたことで、まずは名前から興味をもってもらえる機会が増加した。また本事業利用の方達も愛称ができたことで「Oneすてっぷあしや」の一員という役割をもってプログラムに参加できている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業が広く認知されるために今後も継続して事業の周知を実施していく。
就労支援	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハローワークの生活困窮窓口担当者との連携及び定期的な訪問 他市の情報収集や情報共有を行い、連携を図る。 阪神南障害者就業・生活支援センターと協働して実施。 対象者のニーズに応じたプログラムの実施。 ハローワーク同行や面談 就労準備支援事業評価指標（KPSビジュアライズツール）を活用し、対象者の現在の状況を数値化した支援に活用する。 対象者のニーズに合わせてボランティア体験や就労体験先を開拓し実施する。 <p>【新規】</p> <ul style="list-style-type: none"> 農作業を実施。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 対象者のニーズに応じて農作業等のプログラムを実施することで、ひきこもり状態から外に出る機会につながった。 対象者のニーズに合わせてボランティア体験や就労体験先を4件開拓した。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 開拓した協力事業所で就労体験を実施した。 開拓するのみでなく、ニーズに合わせた開拓が実施できた。 体験した方から「やってみて自分の適性の参考になった。」という声があった。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> プログラムや体験先を開拓するための人手が不足している。 就労体験利用の増加に伴い、職員が付き添う場面も増加し、他のプログラム実施等の職員側の人手不足が課題になってきている。 	<ul style="list-style-type: none"> ハローワーク担当者と就労支援について連携する。 他市の情報収集や情報共有を行い、連携を図る。 企業内の見学やちょっとしたお手伝いを通じて地域の企業とつながっていく。（単引き・植栽のお手伝い等） 畑作業を実施。 対象者のニーズに応じて必要とするプログラムの実施。 こづこづこあそびむろはを保健福祉センターで実施。 就労に向けたPC操作等のプログラムの充実を図る。 対象者のニーズに合わせてボランティア体験や就労体験先を開拓し実施する。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内企業のオフィス前花壇の草引き、植栽作業に月2回程度定期的に実施。 こづこづこあそびむろはを福祉センターで毎週水曜日に実施。就労体験を経て就職につながったケースが1件あった。 畑作業を2箇所定期的に実施。（毎週水曜日・木曜日）1回あたり3～4名が参加している。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 市内の地域の企業や団体と定期的につながることができ、本事業参加者も就労に向けて、就労体験や企業のちょっとしたお手伝い等（草引き・植栽作業）で役割をもって参加できる機会が増えている。参加者からは「定期的に出る機会ができて体力がついた」「誰とも話すことが無かったので、こうやって人とつながることができてよかった。」というお声を頂いている。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後も地域の資源を活用しながら、本事業利用者のステップアップにつなげていきたい。
相談支援体制の機能強化	<p>【継続】</p> <ul style="list-style-type: none"> 定例支援調整会議・事例検討会への参加。 就労支援センター全体会議への参加。 芦屋市民生児委員協議会への参加 若者相談センターアサガオとの連携 ひょうご発達障害者支援センター「クローバー芦屋ランチ」と連携し、情報共有を図る。 外部研修への参加 事例検討会への参加 自立相談支援事業の打ち合わせに参加し情報の共有を行い、該当者への支援や本事業利用促進に努める。 阪神南障害者就業・生活支援センター相談者の障がい者手帳の有無などを共有して支援する。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援機関、若者相談センター「アサガオ」等関係機関と連携することで、5件が本事業の利用につながった。（継続1件、新規4件） <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 早期からの面談の出席、定期的な打ち合わせで情報共有に努めたことにより、自立相談支援機関や他機関と継続して綿密に連携することができた。 就労相談のうち、障がい者手帳を所持しておらず、自中活動の場がない方に対して、つどい場「くろまつ」を通じて参加の場の提供ができた。 本事業で実施している内容を関係機関と共有することで、本事業の利用者、つどい場「くろまつ」、「農作業」に参加する方が増加した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業のプログラムや内容について、継続して周知しながら、連携をさらに強化していきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> 定例支援調整会議・事例検討会への参加。 就労支援センター全体会議への参加。 芦屋市民生児委員協議会への参加 若者相談センターアサガオとの連携 ひょうご発達障害者支援センター「クローバー芦屋ランチ」と連携し、情報共有を図る。 外部研修への参加 事例検討会への参加 自立相談支援事業と情報の共有を行い、該当者への支援や本事業の利用促進に努める。 阪神南障害者就業・生活支援センター相談者の障がい者手帳の有無などを共有して支援する。 	<p>【実績】</p> <ul style="list-style-type: none"> 自立相談支援事業や関係機関と連携することで、7月末時点で新規3件の本事業利用につながった。 <p>【評価】</p> <ul style="list-style-type: none"> 関係機関に就労準備支援事業の現在実施している、つどい場「くろまつ」、「寄ってカフェ」「農作業」「就労体験」等のプログラム内容の認知が少しずつ広まり、対象者に情報提供する機会が増加した。 <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本事業を活用してもらえるように継続して関係機関と連携していく。